

❖❖ 乳がん検診を受診される方へ ❖❖

乳がんは、自分で発見できる唯一のがんです

乳がんは、日ごろから自分の乳房を観察し、触れることで、乳がんを発見できる可能性があります。見て・触ってチェックして、異常があったら専門医の診察を受けましょう。早期発見のため月に1度のセルフチェックと定期的な検診が大切です。

乳房に気になる症状がある場合は、すぐに乳腺外来のある医療機関を受診しましょう

- 乳房のしこり・脇の下のしこり
- 乳房のくぼみ・ひきつれ・ただれ
- 乳首からの血の混じった分泌物

マンモグラフィ検診は、以下に該当する方は受診できません！

- 豊胸術・乳房再建術を受けたことがある方
シリコン、生食バッグ、ヒアルロン酸、脂肪注入など
- 撮影時の圧迫により、破損の恐れがある医療器具を装着している方
ペースメーカー、ICD(埋め込み型除細動器)、
カテーテル、V-P シャント、CV ポートなど
- 1年以内に胸部付近の手術をされた方(圧迫により傷口が開くおそれがあるため)
- 妊娠中またはその可能性がある方
- 授乳中の方

検診当日持参するもの

- バスタオル
- ヘアゴム(髪の毛の長い方)



超音波は？

妊娠中・授乳中の方の超音波については、乳腺が変化している時期で判定が困難になることがあるため医療機関検診をお勧めします。

市町村により受診できないことがありますのでご注意ください。

※マンモグラフィは、乳腺濃度が高い方については、病変の発見が困難となる場合があります。

「要精密検査」と判定された方へ

がん検診で精密検査が必要と判定されたのは、「がんを含め何らかの病気の可能性がある」と判断されたということです。

精密検査を受けた方の中で、がんと診断される方は約16人に1人です。

多くの方が「がんではなかった」と診断されますが、万が一の場合、見つかるはずのがんを放置してしまうこととなりますので、必ず精密検査を受けてください。

- 精密検査は、再度マンモグラフィと超音波の両方が行われることがあります。その診断で疑わしい結果となった場合は、細胞診や組織診などの検査を行います。
- 精密検査結果は、当協会と精密検査医療機関で共有しています。

なお、市町村が実施する検診を受けられた方については、精密検査結果を市町村へ報告しています。

